

川西町赤十字奉仕団

モデル活動報告書



町花：コスモス



平成31(令和元)年・令和2年・令和3年

赤十字奉仕団員信条

- 一．すべての人々のしあわせをねがい、
陰の力となって人々に奉仕する。
- 二．常にくふうして人々のために、
よりよい奉仕ができるように努める。
- 三．身近な奉仕をひろげ、すべての人々と
手をつないで、世界の平和につくす。



奉仕団役員

伴井絹子 城戸美智子 弓仲香織 矢部澄子 福山澄子 島田洋子
森嶋佐起子 堀さえき 福西裕子 村崎育代 岩井清子

ネッピー
(結崎ネブカのマスコットキャラクター)

川西町について

川西町は、奈良盆地のほぼ中央に位置し、東西 3.4km、南北 1.9 km、面積は 5.93km²です。北は大和郡山市と安堵町、南は三宅町、東は天理市、西は河合町に接し、4つの河川が一同に集結して大和川に合流する水辺の町です。

交通環境は、京阪神と名古屋方面を結ぶ広域幹線に至近という恵まれた立地にあります。

古くは水運や農業の町として発展してきましたが、近年においては、住宅地開発や工業団地の誘致等により、コンパクトな田園都市の機能を備えた緑豊かな町として発展してきました。

明治 22 年に結崎・下永・吐田・唐院・梅戸・保田の 6 力村が合併して川西村が誕生。昭和 50 年 4 月に町制が施行されて、川西町がスタートしました。

本町の主な資源は、田園景観の緑や大和川へと集まり注ぐ河川などの豊かな自然資源をはじめとして町内に点在する多くの歴史文化資源などがあります。

歴史文化資源については、観世流発祥の地として伝わる「面塚」をはじめ、全長 200 m の前方後円墳「島の山古墳」や、聖徳太子が通ったとされる「筋違道」、貴族文化漂う「富貴寺」、「白米密寺」などの仏像や建築物、延喜式にも記されている由緒ある「糸井神社」などがあります。

中でも「油掛け地蔵」は文字通り石造の地蔵菩薩に油を掛けるという珍しい風習がある地蔵で、病氣平癒の信仰とともに、油の持つ水を弾く特性から洪水除けの信仰のある地蔵です。

これらの他にも、これまで着実に整備が進められてきた各種の公共施設や 2 つの工業団地における企業の活力、全国トップシェアを誇る貝ボタン製造の伝統、まぼろしのネギといわれた「結崎ネブカ」の生産を復活し、奈良県の「大和の伝統野菜」認定に至るまでの取り組みを続けてこられた地域の方々の活力といった、かげかえのない資源があります。



油掛け地蔵



面塚

活動報告 令和元年（2019年）度

KAWANISHI
サマーフェスタ参加者
8/3(土) 4000名

救護所開設

日赤パネルを展示して広報啓発活動

日赤の活動を知ってもらうことは私たちのやる気にも繋がりました。パネル展示をしてよかったです。

連続防災講座
「いざという時のためにやってみよう！防災」参加者
10/20(日) 27名

第1回

水害に備えよう～大雨が降ると川西町はどうなるの？

川西町の地形で大雨の予想水位を映像化して説明があった。以前水害があった岡山県真備町と似ているが、川西町には高台がないので最新のハザードマップを参考に安全な場所へ早急に避難!!

連続防災講座
「いざという時のためにやってみよう！防災」参加者
11/17(日) 28名

第2回

みんなで避難！～車椅子避難を体験してみよう！

アイマスク体験（視覚しょうがい者の介助方法）

車椅子に乗ったり、押して避難する時、道路の状態が悪く思うように進まなかった。アイマスク体験をした事で避難する怖さを感じた。



連続防災講座

「いざという時のためにやってみよう！防災」

参加者
12/15(日) 31名

第3回

災害時の食について考えよう！

～ポリ袋クッキング～

湯煎で白ご飯、玉子焼き、抹茶入り蒸しケーキを作り、市販のスナック菓子を利用してポテトサラダを調理実食。災害時でも工夫次第で温かい料理が作れること。災害時こそ心も体も温まる「食」が大切であることを学んだ。



このモデル事業は広報にチラシを入れ、町民によびかけました。自治会での防災講座の開催につながり地域に広がったことがよかったと感じている。

救命講習会

令和2年(2020)

参加者
2/19(水) 3名

特別養護老人ホーム「ゆいの里あすか」主催の講習会に参加。（心肺蘇生法、AEDの使い方）

一番大切なのは「助けようとする勇気」!!

いざという時、その勇気をもって正しい判断力と行動力が必要と感じた。



活動報告 令和2年(2020)度

川西幼稚園へ出前講座
「防災教室」参加者
6/11(木) 6名

「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん」を活用して模擬講座勉強会
園児へのプレゼント用に折り紙で「はらぺこあおむし」を作製。

マスクケース
作り講座参加者
7/20(月) 42名

「クリアファイルでマスクケース作り講座」
1講座 10名 4回開催
コロナ禍で予備のマスクを携帯するためのマスクケースを作製。

川西幼稚園
献血啓発参加者
11/10(火) 2名

コロナ感染防止のため、幼稚園への「防災教室」中止。
代替で献血啓発活動として、チラシ「献血のこと知っていますか?」を作成。「はらぺこあおむし」と「けんけつちゃんのハンドタオル」をセットにして保護者会に配布。

マスクケース
出前講座参加者
11/10(火) 27名

「クリアファイルでマスクケース作り講座」
7月の講座が好評で、民生児童委員協議会定例会にて開催。



啓発物品作り

令和3年(2021)
3/24(水) 参加者 6名

新型コロナウイルス感染防止の啓発物品
マスクケース(不織布マスク入り)作製。

使用済み使い捨て
カイロの回収令和3年(2021)
3/24(水) 参加者 6名

Go Green Group の使い捨てカイロをリサイクルして水質環境改善活動に賛同してカイロ回収、発送。
段ボール箱にして2箱(約30kg)集まりました。



活動報告 令和3年(2021)度

新型コロナウイルス
感染防止啓発

(第1回)マスクケース配布

5/10・11 (月・火) 参加者 6名

85歳以上のコロナワクチン
接種者に配布 150枚新型コロナウイルス
感染防止啓発

(第2回)マスクケース配布

6/8~11/14・15 (火~金・月・火) 参加者 18名

80歳以上のコロナワクチン
接種者に配布 550枚
医療従事者に配布 50枚リボンマスク
ストラップ作製・配布

7/8 (木) 参加者 6名

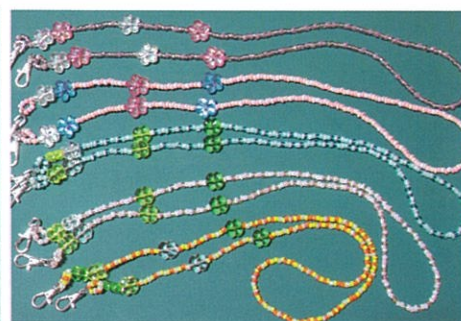
川西町職員(ワクチン接種
関係者)に配布 70個

新型コロナウイルス感染拡大してマスクが手放せない毎日で
す。ワクチン接種者(高齢者)及び医療従事者、献血協力者、
募金協力者、新成人に物品を配布したことは、地域貢献になっ
たでしょうか?

ビーズマスク
ストラップ作り講座

7/21 (水) 参加者 20名

ビーズでマスクストラップ作り 午前・午後2回開催

避難所支援
講習会

9/22 (水) 参加者 20名

避難所の開設について
段ボールベッド組立体験。
新聞紙でスリッパ作り。川西町防災
備蓄倉庫見学

10/8 (金) 参加者 11名

町防災担当職員より説明
土のうは町職員によって3年に1度作り直している。

防災講座

令和4年(2022) 参加者 19名
1/12 (水)第1部 水が出ない!! どうしよう?
水を運んでみよう。
簡易トイレを作ろう!!2ℓペットボトル数本入れた
リュックサックやキャリーバッ
グ、又はポリタンクを運ぶ体験。
バケツに新聞紙や凝固剤を入
れた。第2部 地震に備えよう!!
地震が起こると
川西町はどうなるの?

備蓄のコツ!(ローリングストック法)
「ローリングストック法」は、普段から少し多めに馴染みのある食材や
加工食品などを買い置きしておき、賞味期限の近いものから食べ、食べ
た分を買い足すことで、食べながら無駄なく備える備蓄方法です。

使用済み使い捨て
カイロの回収令和4年(2022) 参加者 15名
3/9 (水)前年度に引き続きカイロ回収
式下中学校も活動に参加
段ボール箱にして17箱(約
220kg)集まりました。※大阪万博開催に向けて、舞洲の水
質改善のためにカイロを回収して
います。

恒例行事 クリーンキャンペーン・めくもりの郷交流会・ふれあい弁当

クリーン
キャンペーン令和元年
9/1(日)令和2年
11/5(木)めくもりの郷
交流会令和元年
11/15(金)

ふれあい弁当

令和元年
12/6(金)
183食

75歳以上のお一人暮らし又は、85歳以上の高齢者のみの世帯を対象に12月と3月の年2回実施。

令和3年
3/2(火)
184食令和3年
12/1(水)
177食

恒例行事 献血啓発・募金活動・国立ハンセン病療養所慰問

献血啓発

令和2年
8/4(火)



川西町役場前にて
(年2回) 8月と2月

令和3年
2/2(火)



川西町成人式

令和2年
1/13(月)

令和4年
1/10(月)



募金活動

令和3年
11/16(火)



令和4年
1/12(水)



募金箱

令和3年
12/8(水)



令和3年
8月
大雨災害義援金



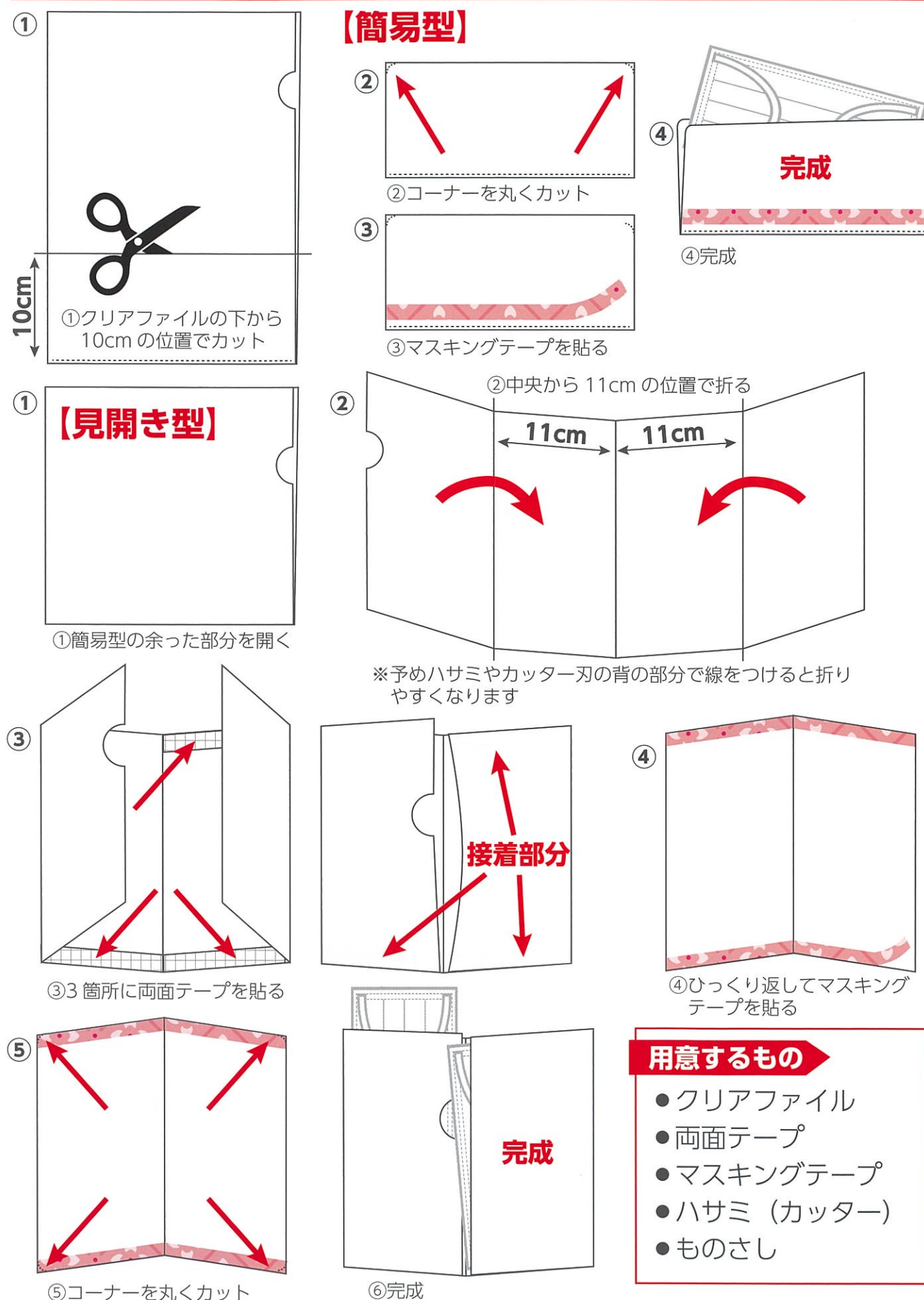
国立ハンセン病療養所
長島愛生園、邑久光明園

令和2年
10/5(月)



毎年4月に訪問
コロナで中止の為、県本部代表者だけで訪問。手土産にマスクケースを作製。

マスクケースの作り方 1枚のクリアファイルから2種類作れます



「新型コロナウィルスの3つの顔を知ろう」

令和2年
11/25(水)



婦人会役員研修



「レザークラフト教室」にて

令和元年より3年間、モデル奉仕団活動「地域とともに歩む日赤奉仕団」として、計画実施してまいりました。集中豪雨、台風、地震など、自然災害はいつどこで起こるかわかりません。

「やってみよう！防災」として、いざというときのための心構えと備えを、体験を通じて学びました。新型コロナウイルス感染拡大により、企画した講座を中止せざるを得ない状況にありましたが、コロナ禍の下でも奉仕団としてどのような活動が出来るかを考えさせられました。

3年間御支援御協力いただきありがとうございました。
皆様に感謝申し上げます。